

令和 8 年 8 月 18 日
愛 媛 大 学

社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座を開講 ～インフラ維持管理を担う技術者育成～

老朽化が進行する社会基盤（インフラ）の維持管理に対応するため、専門的な知識と技術を有する技術者の育成が求められています。

このような背景を踏まえ、愛媛大学では「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座」を開講します。本講座は平成26年度に開始し、本年度で第13期となります。

本講座では、延べ13日間の短期集中カリキュラムにより、行政および民間の技術者が、インフラの維持管理・補修に関する計画・設計・施工の実務的技術を体系的に学びます。これにより、高度な知識を備えた総合技術者の育成と、分野横断的な連携の強化を目指します。

なお、講座修了後、一定の知識と技術を習得したと認められた受講生には、「四国社会基盤メンテナンスエキスパート(四国 ME)」の資格を授与します。

つきましては、本講座の開講について、ぜひ取材くださいますようお願い申し上げます。

記

■実施期間

令和 8 年 9 月 9 日(水)～10 月 2 日(金)

■開催場所

愛媛大学地域協働推進機構 2階研修室(開講式・座学)ほか、各実習フィールド

■受 講 生 28名

■講 師 陣 35名

【開 講 式】令和 8 年 9 月 9 日(水)8:30～10:00

【講座概要】※詳細は別紙時間割をご参照ください。

【閉 講 式】令和 8 年 10 月 2 日(金)16:20～17:50

〔ME 養成講座 HP〕 <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/me/>

※送付資料 4 枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学防災情報研究センター

ME 養成講座事務室

TEL:089-927-9021

Mail:kensien@stu.ehime-u.ac.jp

令和8年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 時間割

【2026/4/1】

科目枠		開催日	1時限目 (8:30～10:00)	2時限目 (10:20～11:50)	3時限目 (12:40～14:10)	4時限目 (14:30～16:00)	5時限目 (16:20～17:50)	(18:30～20:00)	
前半	1	9/9 (水)	【開講式】 ガイダンス アイスブレイク	社会基盤と 維持管理(総論)	社会基盤のアセットマネジメント		グループ事例研究	講義, 事例研究の レポート作成	
	2	9/10 (木)	劣化モデルと 評価手法	劣化モデルと 評価手法<演習>	維持管理における AI技術	ライフサイクル コスト	グループ事例研究	講義, 事例研究の レポート作成	
	3	9/11 (金)	舗装の設計と 維持管理	道路附帯設備の 点検と補修工法	<実習> コンクリートの 耐久性試験	<実習> 詳細点検のための 非破壊検査技術	グループ事例研究 (ME話題提供)	講義, 事例研究の レポート作成	
	4	9/14 (月)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (鋼橋)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (コンクリート橋)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (床版)	橋梁構造物の 下部工の 設計と維持管理	【注】 対面での受講が 原則。 遠隔受講(Web オンライン)を希 望する場合は理 由を添えて事前 に申請・審査。	講義, 事例研究の レポート作成 (4/5コマ)	
	5	9/15 (火)	鋼橋の損傷と対策	コンクリート橋の 損傷と補修工法	橋梁の補修設計	橋梁構造物の 基礎工の 設計と維持管理		講義, 事例研究の レポート作成 (4/5コマ)	
	6	9/16 (水)	橋梁の耐震補強	維持管理の 新しいアプローチ (橋梁の簡易点検)	トンネルの設計	トンネルの 変形と補修工法		講義, 事例研究の レポート作成 (4/5コマ)	
	7	9/17 (木)	港湾・海岸施設の 維持管理	港湾・海岸施設の 損傷と補修	河川構造物の 維持管理	河川堤防の 損傷と補修		講義, 事例研究の レポート作成 (4/5コマ)	
	8	9/18 (金)	斜面の設計と 維持管理	擁壁の設計と 維持管理	四国・愛媛県の 地形と地質	地域の地盤特性と 健全度評価		講義, 事例研究の レポート作成 (4/5コマ)	
後半	9	9/28 (月)	8:00時開始 <実習>海岸施設の点検と診断, 補修		下水道の 維持管理	<実習> 下水道の点検と診断, 補修		講義, 事例研究の レポート作成	
	10	9/29 (火)	橋梁の 維持管理手法	<実習, 演習> 橋梁の点検と診断, 補修					講義, 事例研究の レポート作成
	11	9/30 (水)	トンネルの 点検と診断	<実習, 演習> トンネルの点検と診断, 補修					講義, 事例研究の レポート作成
	12	10/1 (木)	斜面の設計と 維持管理<演習>	擁壁の設計と 維持管理<演習>	<実習> 自然斜面, 落石, 切土, 擁壁の点検と診断, 補修			講義, 事例研究の レポート作成	
	13	10/2 (金)	メンテナンス 技術者倫理	リスク マネジメント	社会基盤と維持管理 ワークショップ		【閉講式】 今後の技術 向上に向けて	講義, 事例研究の レポート作成	
eラーニング (8/17-9/8)			橋梁工学		コンクリート構造物の損傷		鋼構造物の損傷		
			構造物の補修・補強		共通の損傷		橋の点検要領		
			コンクリート橋の点検		鋼橋の点検		構造物の詳細調査		

【主な科目】

前半: インフラマネジメント, 道路のメンテナンス, 室内実習(コンクリート耐久性試験, 非破壊検査技術)

座学: インフラ施設の維持管理等(橋梁, トンネル, 港湾・海岸施設, 河川構造物, 斜面・擁壁, 地質と地盤)

後半: フィールド実習(橋梁, トンネル, 海岸施設, 下水道, 斜面・擁壁の点検と診断, 補修)

メンテナンス技術者倫理, 社会基盤と維持管理ワークショップ

【内訳】

座学	55.5 時間	37 コマ
演習	7.5 時間	5 コマ(実習内含む)
実習	22.5 時間	15 コマ
グループ研究	4.5 時間	3 コマ
レポート作成	18.0 時間	12 コマ
eラーニング	13.5 時間	9 コマ
	121.5 時間	(1コマ=1.5時間)

■ 受講概要

定 員	30名
受講料	24万円（税込） 別途ME登録料3,000円
日 程	8月～11月（詳細はWebサイトをご確認ください）
会 場	愛媛大学城北キャンパス内研修室、野外実習フィールド

■ 受講資格

ME養成講座の受講者は、以下の要件を満たす土木・建設系の技術者を対象とします。

- (1) 官公庁等の土木技術者：社会基盤の維持業務を3年以上経験またはそれと同等以上の能力を有する者
- (2) 建設業界の土木技術者：社会基盤の点検・調査、構造物の新設・補修・補強に係わる設計・施工管理業務を実施した経験を3年以上有する者
- (3) その他：各要件を個別に満たしていないが、所属機関における実務経験（複数機関での経験を含む）により同等の要件を満たすと愛媛大学が認めた者

■ 受講から資格取得までのスケジュール

募集 手続き	5月上旬：募集要項公表 5月中旬～6月上旬：受講申込受付	6月中旬：受講者審査・受講者通知 6月下旬～7月中旬：受講手続き
学習 講座	8月中旬～8月下旬：eラーニング	8月下旬～10月上旬：講座受講（計13日間）
試験 認定	10月下旬～11月上旬：認定試験 12月上旬：審査結果発表	1月上旬：認定証授与

■ 応募方法

募集要項（愛媛大学防災情報研究センターWebサイトに掲載）より、受講申請書を受付期間内に、ME養成講座の事務局へご提出ください。愛媛大学において申請書類を審査し、受講の可否を決定します。

Webサイトから募集要項をご確認のうえ、郵送にてお手続きください。

<https://www.cee.ehime-u.ac.jp/me/> または「四国ME」で検索してください。



■ お問い合わせ先

愛媛大学防災情報研究センター

社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座 事務局

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番
TEL・FAX 089-927-9021
E-mail kensien@stu.ehime-u.ac.jp

社会基盤メンテナンス エキスパート（ME） 養成講座

社会基盤の維持管理を担う高度技術者を育成する実践型講座です。
2014年から継続するリカレント教育として、これまでに300名近い
資格者（四国ME）を輩出してきました。

国立大学法人愛媛大学



社会基盤の老朽化に立ち向かう、次世代の「診断力」

我が国では、これまでの経済成長に伴い、道路をはじめとする多くの社会基盤が整備されてきました。しかし今後は、これら構造物の老朽化が急速に進行・拡大することに加え、少子高齢化の進展により、社会基盤の維持管理の重要性が一層高まっています。

一方で、メンテナン스에携わる技術者は不足しており、行政と民間の双方において技術力の向上が求められています。このような状況の下、国では社会基盤の長寿命化に向けた施策を推進しています。構造物の劣化状態を的確に診断し、適切に対処できる技術者を育成することは、四国地域ひいては我が国の国土を守るうえで、極めて重要です。

本講座の3つの特長

- ① 産官学が連携した確かな実施体制
産官学が一体となって人材育成に取り組めます。地域の強力なバックアップ体制のもとで、社会基盤メンテナン스를支える専門人材を育成します。
- ② 理論と実践を繋ぐ一貫したカリキュラム
eラーニングや講義で修得した知識を、実習や演習を通じて実践的な技術へと高めます。現場における的確な判断力と診断能力を修得するプログラムです。
- ③ 継続的な研鑽を支えるネットワーク
修了後も、ネットワークを通じて最新技術の共有や課題検討を行い、専門家としての知見を更

延べ13日間の短期集中カリキュラム

学びの流れ：座学（講義）→演習→実習（フィールド）と、段階的に学習を進めます。
学びの時間：延べ13日間（8月下旬～10月上旬）、合計約120時間。

前半 (8日間)	インフラマネジメント、道路のメンテナン스、 室内実習（コンクリート耐久性試験・非破壊検査技術） 座学：インフラ施設の維持管理等（橋梁、トンネル、港湾・海岸施設、 河川構造物、斜面・擁壁、地質と地盤）
後半 (5日間)	フィールド実習：施設点検とWS（橋梁、トンネル、海岸施設、下水道、 斜面・擁壁の点検と診断、補修） メンテナン스技術者倫理、社会基盤と維持管理ワークショップ



四国MEとは

“ME”とは、メンテナン스エキスパート（Maintenance Expert）の略称です。四国MEは、養成講座の修了および認定試験に合格した者に授与される技術者資格です。インフラ維持管理に関する高度な知識と技術を有する中核的技術者として認定されます。令和7年度（2025）までに第12期修了生を輩出し、認定者数は283名に達しています。



生きた技術を育む

座学で学んだ劣化メカニズムの知識を、橋梁などの実構造物を用いた現場実習を通じて、実践的な技術として育みます。現場における的確な判断力と診断能力の修得を徹底します。

未来へ続くネットワーク

ともに13日間の学びを修了し認定試験に合格した四国MEは、修了生組織「四国MEの会」を通じて、最新技術の共有や現場課題の検討を行います。職域を超えたネットワークの中で、継続的な自己研鑽が可能です。



社会貢献

ME認定者は高い評価を受けており、自治体向けワークショップでの講師活動などを通じて、地域の技術力向上に貢献しています。また、地域防災活動や各種イベントにも協力しています。



四国MEのインセンティブ

四国MEは、国土交通省の規定を満たす「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格」（民間資格）として認められています。今後は、地方自治体においても、維持管理分野の中核を担う技術者資格として、さらなる活用と評価の拡大が期待されます。

施設分野	業務	知識・技術を求めるもの
橋梁（鋼橋）	点検／診断	担当技術者
橋梁（コンクリート橋）	点検／診断	担当技術者
トンネル	点検／診断	担当技術者